



2020年10月



22期東海教区女性会  
発行責任者\*坂井茂子



## 22期 主題：わたしたちはぶどうの枝

～～まことのぶどうの木につながって～～

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である

人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば

その人は豊かに実を結ぶ。 [ヨハネによる福音書15章5節]

### <巻頭言>

「つながっているということ」

徳弘浩隆 大垣教会・岐阜教会牧師



この夏、教会の草刈の合間に、大変さを嘆くだけでなく創造的な楽しみもと思  
い立ち、野菜を植えました。すると3つの苗のゴーヤはみるみるツルを伸ば  
し、日除けのカーテンと50以上の実りで応えてくれました。ある日伸びやすい  
ようにとツルを動かした時、誤って痛めてしまいました。折れませんでした  
危うい感じ。その先には黄色い花がいくつも咲き、小さな実も。素人考えで包帯と養生テープで  
手当をしたら、その後無事にいくつもの実ができました。「ああよかった。何とかつながって  
くれた」と喜びました。ブドウではなくゴーヤで聖書の言葉を味わいました。真夏日の日よけに  
なってくれたことも喜び、ヨナの気持ちも。空模様を気にし、手を土で汚し自然と接しました。  
雨が降ると「今日は神様が水やり当番、ありがとう」と雨も嫌でなくなりました。今までを悔い  
改めさせられる機会となりました。アダムは土から作られ、神の息を入れて生きたものとされ、  
自然の管理も任されました。しかし私たちは、自然と切り離され、神様からも離れ、人間同士も  
バラバラだったのです。教会役員や有志の方々が相互牧会グループを作り、週報や手紙を送り声  
掛けもしていただきます。私もネット上で週に一度は何人も声を掛け合っています。「どうして  
る?」「今日は元気に仕事に行けた?」「家族や友達に言えないことでも何でも聞くからね」「祈っ  
てるから」と岐阜周辺だけでなく全国やブラジルの気になる人たちとも。Covid-19で頻繁に会え  
なくなりました「つながっていないと寂しい、生きていけない」と痛感します。

東海教区の女性会の働きとその繋がりに感謝します。「つながっていないと寂しい、つながって  
いて嬉しい、神様と皆と、そして社会と」と感じる時、もっと豊かな実を与えられるでしょう。

女性会の集まりに参加しましょう

東海教区社会・奉仕部長 芳賀美江（小鹿教会）



考えてもいなかった東海教区社会・奉仕部長をお引き受けすることになりました。東海教区では信徒の社会・奉仕部長は初めてになります。女性会担当牧師を小澤周平牧師がお引き受け下さり 57 総会期の歩みが始まりました。

小鹿教会では女性会の集まりは平日に行われており長く会費だけ、機関紙を読むだけ、土曜日の教区女性会の集まりに何度か参加しただけの会員でした。定年後に活動に参加し、これまでの女性会の様子を知り、いろいろな教会の方との交わりの大切さを知りました。尊敬する信仰の先輩達の活動についても見聞きしました。教会の中では信徒の一人であり、男性とか女性ということは考えずに来たのですが、女性会についても考えていく必要があると思うようになりました。

女性会も高齢化は免れず、中心になっているのは 60 代 70 代の方であり、子育て中の方や働いている方は参加しにくいのが現状です。これからは若い方が参加して活動できるような形が求められていくのではないかと思います。普段忙しいと目を向けることがない問題や、年配の方からこのことを考えてほしいことなど、色々な年代の方がおられるからこそ、お互い話し合えることもあるのではないのでしょうか。女性会の集まりに参加して元気になり力がもらえ、また行きたくなるそんな女性会でありたいと思います。

これまで参加したことがない方も是非一度、女性会の集まりに出てみては如何でしょうか。



わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りににはしない（ヘブライ 13：5）

東海教区社会・奉仕部長 小澤周平牧師（名古屋めぐみ教会）



今年度、社会奉仕部の担当教職としてご推薦を頂きました。初めてのことばかりですが、一つ一つ学んでいきたいと思えます。今年は本当に大変な年になりました。新型コロナウイルスの影響は私たちの生活の全てに及んでいます。7 月初めて教区女性会の役員会に参加しましたが、各教会で女性会活動を部分的あるいは全面的にお休みする状況になっていることをうかがいました。加えて、社会状況も合わせて深く議論し、今年度の教区女性会の集いは中止の判断をせざるを得ませんでした。私は同席して役員の皆様が本当に苦慮しておられ、それでも教区女性会に連なるお一人おひとりのお顔を想像しながら安全を考えておられる様子に心を打たれました。きっと、皆様の日常生活におきましても様々な困難が生じていることと思えます。気兼ねなく世間話をする 것도できず、賛美歌さえ大きな声で歌えず、日常が奪われた思いにもなります。それでも、私たちには、祈りが与えられています。祈れない時でさえ祈りによって支え合う、神の家族が与えられています。病気で辛い思いをされている方への慰めと癒しと共に、この困難が去ることを祈り続けたいです。私自身、皆様と共に祈り合う家族に加えて頂きましたことを感謝いたします。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。



# コロナ禍自粛中、教会では

22 教会の皆様からの感想をお届けします

## 東 静 地 区

**沼津教会**は6月7日より礼拝と祈禱会を再開しました。

休会中、近況を伝え励まし合うことが大事だと考え、皆様からのお便り、写真、絵俳句等を聖書の日課に載せて数回発行しました。各人体調に合わせ、元気に礼拝に出席されています。(沼津教会 伊藤昭子)

**富士教会**は、4月5日から2か月の各家庭礼拝となり、コロナ感染の一日も早い収束と撲滅を祈りました。6月に教会礼拝が復活すると、兄弟姉妹、木下海龍先生共に皆元気なお顔を見せて下さいました。

(富士教会 植松厚子)

**清水教会** 6月に入り、教会での礼拝に与ることができました。

どんな時にも『わたしたちはぶどうの枝』であることを感謝しています。(清水教会 山本美智代)

**小鹿教会**は、4月12日～5月31日まで礼拝、各集会在中止となりました。



従って女性会活動も休止しました。長椅子に一人ずつ座りマスク着用という形で6月7日より再開。礼拝式も簡素化。毎週牧師先生から聖書と説教のプリントが郵送されてきます。

この自粛期間中、会員の和田雪香さんが長い闘病生活の中、天に召されてしまったことは大きな悲しみでした。(小鹿教会 鈴木暁美)

## 駿 遠 地 区

**藤枝礼拝堂**では教会礼拝その他活動がすべて中止となり、5月いっぱい新しくお迎えした、伊藤節彦(よしひこ)先生が家庭礼拝用の週報を毎週、配って下さり家庭礼拝ができ感謝でした。6月に入り3密を避け、徐々に短礼拝から正常礼拝を行なえるようになり、教会員の皆さんのお顔も揃いました。主のお守りを感謝いたします。(栄光教会藤枝礼拝堂 福地美知子)

**島田礼拝堂**では8月8日に104歳になられた寺田姉妹をはじめ皆、元気です。

写真は伊藤節彦<sup>よしひこ</sup>牧師と寺田姉妹です。→  
(栄光教会島田礼拝堂 片川三枝子)



**新霊山教会**では窓をすべて開けて小鳥のさえずりや蝉の声の中、毎週の礼拝が行われています。春には新しく明比先生ご夫妻をお迎えし、皆元気に集っています。平穏な日々が一日も早く戻ってきますように。(新霊山教会 秋山理恵)



**焼津礼拝堂**では嬉しい牧師就任式の写真。シャッターがおりる直前に皆マスクをはずしました。教会で礼拝ができない期間には、家庭用礼拝用式文や希望により CD 等、労を惜まず各家庭に届けていただき、ライブ配信もされていたので、牧師夫妻と信徒の絆はもうこの時すでに出来ていました。  
(栄光教会焼津礼拝堂 櫻井國江)

**掛川菊川教会**では非常事態宣言が出されたことにより、礼拝を休止しその間主任牧師によって家庭礼拝用週報、式次第と説教等も記載されたものを頂き、それを役員が信徒全員に配布し、家庭での主日礼拝を守ることが出来ました。

(掛川菊川教会 高島洋子)

## 三遠地区

**浜松教会** 女性会は春から活動を休んでおります。礼拝もユーチューブで行う事が多く、コロナが憎くて仕方ありません。女性たちは礼拝で会えときはとても嬉しそうで元気がもらえます。お互いその気持ちを確かめ合っていこうと思います。



(浜松教会 中村正子)

**浜名教会**では自粛中、感染対策をしつつ、信徒だけで「祈りの礼拝」を持ちました。聖書を皆で読み、一人一人順番にお祈りをしました。共に祈ることで、それぞれが力づけられたと思います。

(浜名教会 北山愛)

**みのり教会**では愛知県で8月の初めに発令された緊急事態宣言で、教会にもその影響が押し寄せていました。この時期教会は、礼拝を含む諸集会は休止され、自宅で守る礼拝を原則としています。この宣言が解かれますと、感染防止の為に教会では「新しい生活様式」としての礼拝が行われます。礼拝は短縮され、牧師が全てを取り仕切ります。信徒はお客様でしかないので。

「どうか信徒も加えての礼拝になりますように。主を賛美し共に祈り捧げる喜びをもっと分かち合いたい」そう願うのは、この時期間違っていますか？  
(みのり教会 長谷川泰子)

**岡崎教会** 最近特にコロナウイルス感染が拡大しています。



教会では女性の皆さんによって花が飾られ、この非常事態の中いつもよりいっそう美しく見えて、心が癒され元気を貰います。

この困難を元気で乗り越えられますよう頑張っています。  
(岡崎教会 女性会)

**刈谷教会**ではコロナ禍で礼拝が自粛となり、室原先生が送ってくださる在宅礼拝用式文を用いて礼拝を守りました。教会の礼拝も再開され、皆さん元気に教会へ集い、礼拝に与っています。

感謝です！！  
(刈谷教会 カタリナ会)

**挙母教会** 新型コロナにより自粛と言われ、教会でも普段の礼拝ではなくなっています。女性会も、短い時間で行っています。

そんな中、高齢の方が参加できなくなったので、暑中見舞いのカードを送りました。これからも続く自粛に、こういう活動が必要だと話し合っています。 (挙母教会 中根ますみ)

## 尾張岐阜地区

**知多**は元気です！！

日常予防策の礼拝後毎週、欠席や客員の方々に週報や説教内容を郵送して繋がりを保っています。今後の課題は、交流の保持です。いいアイデアを募集中！ (知多教会 伊賀佐與子)

**名古屋めぐみ教会**は近隣の商業施設で感染者が出た事もあり、3月8日から会堂での礼拝が中止。動画配信と説教の郵送が始まりました。今は3密を避け、1日に2回の礼拝です。どんな状況でも、神様の御言葉に触れ心穏やかに過ごしたいと思っています。 (名古屋めぐみ教会 石川美代子)

**なごや希望教会** 新型コロナウイルスの感染拡大当初から牧師は、「礼拝はどんな事があっても必ず守る」と宣言されました。幸いにも新会堂は開放的で、三密はさけられました。そして手洗い消毒、マスク着用を徹底し普段通りの礼拝を守っています。



しかし、コロナ禍では歳を重ねて礼拝参加できない方、病気がちの方、家族に介護を必要とされる方など多数おられます。牧師は「ルターは『教会とはキリストが語りたもう純粋な福音が説教される会衆である』と言い、同時刻に御言葉が聴けるならば教会でなくとも参加出来る」と主日礼拝を位置づけ、ライブ配信を始められました。皆さん喜んでおられます。

(なごや希望教会 嶋 昭江)

**復活教会**は木造の古い会堂に 15~20 名ほどで礼拝を守ってきたので、「密」になろうとしてもなれません。マスク着用、アルコール消毒後聖餐を受ける等は実行しましたが、4月29日以外は礼拝を守り続けられました。感謝いたします。

(復活教会 服部典子)



**高蔵寺教会**は4月から兼牧による信徒礼拝を隔週で守っています。新型コロナウイルスの緊急事態宣言と兼牧の有りようとの狭間にありつつ、必死で教会を守ろうとしています。小さな群れを神様が導いてくださいますから、安心して主にお任せします

(高蔵寺教会 稲垣八重子)

**大垣教会**では6月半ばから3週間、公の礼拝と集会在休みとなりました。今まで当たり前と思っていた礼拝に集うことができない！本当にショックでした。

そうやって、初めて兄弟姉妹と共に集う喜びがどれほど深いものであったかを知らされました。また、家庭礼拝の中で心を込めて教会のため、世界のために祈ることもできました。

当たり前のことに感謝すること、そしていつもとりなしの祈りを忘れない、コロナ禍の中で、大事なことに気づかされた時でした。(大垣教会 斎藤末理子)

**岐阜教会**は、大垣教会の鈴木兄弟のご奉仕により、オンライン礼拝を続けられる事に感謝しております。おかげ様で多くの方が、イエス様の教えを共に感動できて、本当に幸せです。

(岐阜教会 栗本雅子)



## 22期東海教区女性会役員就任後2年半を迎えました

### 『新しい女性会を目指して』

会長 坂井茂子 (なごや希望教会)

22期東海教区女性会、役員として3年目に入り女性会便り“アガパンサス5号”は最終号となりました。役員としての奉仕も残すは半年となりました。

5月に予定していた“女性会の集い”では徳弘牧師から、ブラジルについての興味深い講演を拝聴出来ると心待ちにしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大で、10月に延期となりましたが、参集は危険が多く中止せざるを得ませんでした。この企画は、いつか実行して頂きたいです。



コロナ感染が収まる気配がない中、女性会会員減少、高齢化等 (推移表参照)

多くの課題はありますが、新しい女性会として、神様を信頼し良き知恵を仰ぎ、分かち合いながら希望の道を進むことが出来るよう祈っています。

私たち22期役員一同、神様のお恵みと、会員皆様



のご理解とご協力があり、ここまで来られたことを心から感謝いたします。

	2018年	2019年	2020年
20代	1人	0	0
30代	3人	2人	2人
40代	4人	4人	5人
50代	31人	25人	20人
60代	48人	51人	43人
70代	84人	74人	75人
80代	32人	32人	34人
90以上	11人	6人	5人
合計	214人	194人	184人

(女性会会員推移表)

## 『支えて頂き感謝です』

会計 片川三枝子(栄光教会島田礼拝堂)



教区の役員をお願いしたいとお話があった時「お母さん今でしょ！次はないから！」と、娘に背中を押されて教区の事も連盟の事も何も分からない中お引き受けしたのがつい先日の様です。

この2年半の間様々な事が身に起こり「この次は何？」と、受け止めるのも大きな時、支えてくださったのが坂井会長をはじめ役員の方々でした。祈る事も出来ない辛い時、女性会の皆様の励ましにも何度も助けられました。会員数の減少がこれからの課題となる中、継続していくことの重要性や女性会の存在の意義を改めて思いました。会員の皆様のご支援やご協力も本当にありがとうございます。ここまでやってこられた事、次につなげられる事を皆様に感謝致します。

## 『主のご計画のうちにある歩み』

連盟担当 澤田小枝子(挙母教会)



役員としての働きをいただき、神様が欠けのある私を一生懸命に用いようとしてくださっていることを痛切に感じています。そして、このお役目は、今まで経験してきたことをフル活用するためだったのか…と、歩んできた道を振り返る時にもなっています。

私は教区の役員ですが、連盟の文書担当であるため、どうしても教区のことには全力投球できない時があります。会長さんをはじめ皆さんに、ご負担をかけているのですが、私を応援し、不足を補ってくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も教区役員4人という状況は、会員数の減少や高齢化で5人選出が難しいこと、あわせて経済的な面からも、致し方ないでしょう。「与えられた人数で出来る運営を考えていく」ことが今、必要なことなのではないかと思います。これからの女性会の歩みも、会員の皆さま一人ひとりの歩みも、主のご計画のうちに導かれますように。

## 『背伸び』～振り返って～

書記 岡田敦子(大垣教会)



役員になって最初の1年は、何も分からず只々パソコンに振り回されていたように思います。メールや簡単な入力はできていたものの、案内作成や地図の挿入等ほとんどやったこともなくて途方に暮れるばかりでした。書記なのに！

一念発起してパソコン教室に通い始めました。学ぶことは嫌いではなかったのですが、頑張れました。できることが増えてくると楽しくなり、2年目は少し気が楽になりました。

そして3年目、コロナ禍により集いを中止したことは本当に残念でした。

任期最後を役員一同頑張って計画していたのに・・・

何事も順調な時ばかりではありません。今後も災害やいかなるウィルスが出現するか分かりません。

来年2月に総会を迎えます。今思う事は、無理をするのではなく少し背伸びして役員を受けてよかったと思います。少し背伸びしたことによって色々なこと、知らなかったことが見えてきました。そして成長させられた気がします。神のご計画に感謝！

## 女性会会員の皆様に感謝

現在、東海教区女性会は22教会が加入されています。全ての女性会からコロナウイルス禍、どのように信仰を支えてこられたか、会員様に原稿をお願いしました。私たちはこの間“何も出来ない”と気持ちは萎えていましたが、皆様からの寄稿文は大きな、大きな喜びでした。どちらの教会も、家庭礼拝、ライブ配信など、平常時と違った新しい礼拝の方法で神様への感謝をささげ、お恵みを共に受け、信徒間の交わりを大切にしてくられたことが、文面から読み取ることが出来、感謝と御礼申しあげます。

今期、アガパンサス5号を最終として、皆様の手元にお届け出来たことは、祈りを聴いて下さった神様、皆様のご協力そして、力を貸して頂いた先生方、心から感謝申し上げます。役員を経験させて頂き、信仰は困難を乗り越えられると知りました。そして、信仰の友が一生の大切な宝となりました。感謝 役員一同

## お知らせ

### 東海教区女性会 第58回 定期総会

日付：2021年2月13日（土）

場所：なごや希望教会 午前10時開始

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今までの総会のあり方とは、変更する可能性がありますのでご了承下さい。後日、案内書を送付します。

### 女性会連盟 第25回 総・大会

日付：2021年6月8・9日

会場：ホテル熊本テルサ

＊今年7月九州南部豪雨被災のため、東海教区女性会から5万円を支援金として送りました

＊毎年12月「まきばの家・子どもの家」「ディアコニア」にクリスマスカード・プレゼントを、お送りしていましたがコロナ感染のため中止いたしました。